



シロアリはどうして木をかじるの

シロアリは木材しか食べない

人間は、野菜でも肉でも、何でも食べるので、雑食性といわれます。でも、コアラやパンダのように、決まった植物の葉しか食べない動物もいます。こん虫などは、種類によって、決まった物しか食べないことで、いろいろな種類が、おたがいにほろびないで生き残ってきました。

シロアリの食べ物は、たおれた木や、建物に使われている木材などの植物の繊維です。だから、木をかじるのです。おもしろいことに、木材を食べても、シロアリは自分では消化することはできません。シロアリの腸の中にすんでいる細菌などが、繊維を分解したり発酵したりして、そこでできた栄養分をシロアリは吸収しています。外国にいるキノコシロアリなどは、木材を分解した栄養で生えてくるキノコを、食べ物にしています。

シロアリは、森林には大切な生き物

シロアリは、日本では、家や建物の土台の木材をぼろぼろにしてしまうため、害虫として知らわれ、おそれられています。

でも、熱帯の森林などでは、たおれたりかれたりした木を分解して、土の栄養分に変えてくれるシロアリは、森のそうじ屋さんとして、大切な役目をしています。シロアリがいるから、森はきれいになり、次々と新しい木が生えてきて、森が生き続けられるといえます。土の中のミミズと、同じようなはたらきをしているのです。（監修・中山 周平）

